
XT4214ARS₂SW₃C

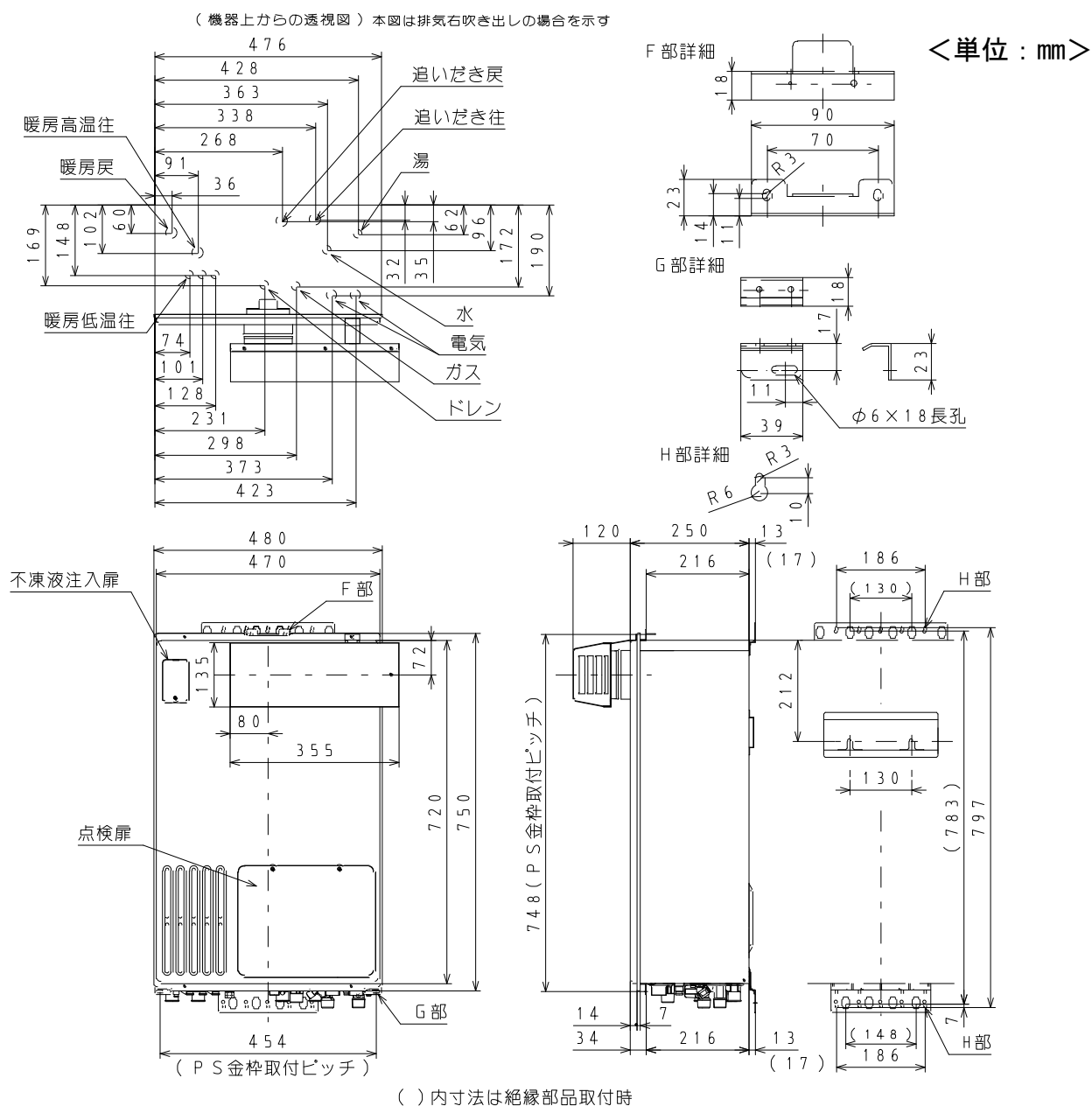
外形寸法図

仕 様 表

東京ガス株式会社
パーパス株式会社

外形寸法図

給湯暖房用熱源機 XT4214ARS2SW3C



■底板よりの各継手高さ (mm)

ガス	40
水	51
湯	51
追いだき往・戻	38
暖房低温往	24
暖房高温往	38
暖房戻	38
ドレン	25
電線管	25

■固定方法と部材仕様

固定場所	部材	設置種別	部材寸法	固定本数	引張り耐力	備考	適合告示 (国土交通省告示第1447号 の第五)
木壁固定	木ねじ	壁掛け 据置(上部固定有)	φ4.8×38	4	0.3kN/本以上 (木下地15mm)	JIS B1112-1995 に準拠 付属木ねじ との組合せ	三
		壁掛け 据置(上部固定有)	φ6×30	2	合計0.6kN以上		
RC壁固定	プラグ おねじ形あと 施工アンカー	壁掛け 据置(上部固定有)	M6×30以上	2	0.5kN/本以上	アンカーは現地調製品。 プラグ併用時はアンカーで 耐力確保するものとする。	三
		壁掛け 据置(上部固定有)	M5×20以上	1	合計0.6kN以上		
ALC壁固定	挟込金具	壁掛け	M10	4	0.3kN/本以上	防振架台	三
PS固定	小ねじ	壁掛け	M5×16	4	0.5kN/本以上		三

本製品の設置・転倒防止の措置は、国土交通省告示第1447号

「建築設備の構造耐力上安全な構造方法を定める件の一部を改定する件」に対応しています。

2016年6月作成

仕 様 表

給湯暖房用熱源機 XT4214ARS2SW3C

項 目		仕 様
品 名		XT4214ARS2SW3C
型 式		GH-H2400Z(A)YT
設 置 方 式		PSアルコーブ設置形/屋外壁掛設置形
製 品 質 量		39kg(満水時:42kg)
防 火 性 能		側面・後面近接設置
ガ ス 種 類		13A
ガス消費量	給 湯	44.1kW(37,900kcal/h)
	暖 房	20.2kW(17,400kcal/h)
	同 時	50.0kW(43,000kcal/h)
能 力	給 湯	41.9kW(24.0号)~0kW(0号)(比例制御)
	追いだき	9.3kW(8,000kcal/h)
	暖 房	17.4kW(15,000kcal/h) ~ 2.33kW(2,000kcal/h)比例
熱 効 率	給湯・湯張り	95.0%
	暖 房	87.0%
	11kg消費効率	93.0%
	達 成 率	112%
区 分 名		Q
点 火 方 式		ダイレクト着火方式
給 排 気 方 式		強制排気式
最 大 出 湯 量		29ℓ/min
最 低 作 動 流 量		1.9ℓ/min
最 低 作 動 水 圧		10.0kPa(0.1kgf/cm ²) (機器のみの場合)
使用水圧(動圧)		100~750kPa(1.0~7.5kgf/cm ²)
温度制御方式	給湯	比例制御
	暖房	比例制御
追 い だ き 方 式		間接加熱式
暖房ポンプ 機外揚程	高温	65kPa(5ℓ/min)
	低温	1系統:75kPa(2ℓ/min)、2系統:70kPa(4ℓ/min)、3系統:60kPa(6ℓ/min)
暖房水タンク容量		1.3ℓ(有効0.8ℓ)
許容システム水量		銅管:24.0ℓ、樹脂管:35.0ℓ
配 管 口 径	給 水 ・ 給 湯	20A(R3/4)オネジ
	追いだき往・戻	CCHMｼﾞｮｲﾝﾄ
	暖 房 低 温 往	CHMｼﾞｮｲﾝﾄ(3P)
	暖房高温往・戻	CCHMｼﾞｮｲﾝﾄ
	ド レ ン	15A(R1/2)オネジ
	ガ ス	20A(R3/4)オネジ
電 気 特 性	電 気	C31(呼び径)
	電 源	AC100V
	リ モ コ ン	24V以下
	消費電力	250W
凍結予防		334W
安 全 装 置		空だき防止装置(水量センサー方式)、ファン回転検出装置(回転検出方式) 立消え安全装置(フレイムロッド方式)、残火安全装置(パイメタル方式) 過圧防止安全装置(スプリング方式)、水位確認装置(水位電極方式) 凍結予防装置(電気ヒーター+ポンプ運転)、漏電安全装置(漏電リレー方式) 過熱防止装置(温度ヒューズ方式)、誘導雷保護装置(サージアブソーバー方式) 過電流防止装置(電流ヒューズ)
付 属 品		取扱説明書、工事説明書、中継リード線一式、取付ネジ類一式
別 売 部 品		浴室リモコン、台所リモコン、増設リモコン、各種 据置台(SD-4534/SD-6534) 配管カパー(HC-4534/HC-6534) 防振架台(BK-4500/6500)、防振壁固定金具(WK-9000) Xデ'ンリョクソクタイ-2P(EM-02)他
給水装置認証番号		NW2019

※仕様・寸法等は改良の為、予告なく変更することがあります。

2014年9月作成